

# 平成24年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	栃木県		市町村類型	Ⅲ-1	指定団体等の指定状況		区分		平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)							
					財政健全化等	×	歳入総額	44,697,922	45,250,343	実質収支比率	8.1	5.7									
市町村名	那須塩原市		地方交付税種地	1-3	財源超過	×	歳出総額	42,294,946	43,572,015	経常収支比率	91.2	93.9									
					首都	○	歳入歳出差引	2,402,976	1,678,328	(※1)	(95.1)	(97.6)									
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	204,092	122,040	標準財政規模	27,279,554	27,078,163									
					中部	×	実質収支	2,198,884	1,556,288	財政力指数	0.79	0.81									
人口	22年国調(人)	117,812	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	642,596	-366,772	公債費負担比率	17.8	18.0									
	17年国調(人)	115,032			過疎	×	積立金	828,588	1,901,349	健全化判断比率											
	増減率(%)	2.4			山振	○	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-									
住民基本台帳人口(※7)	25.03.31(人)	118,761	区分	22年国調	17年国調	低開発	○	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-								
	うち日本人(人)	116,992		第1次	3,673	4,851	指数表選定	○	実質単年度収支	1,471,184	1,534,577	実質公債費比率	10.1	10.6							
	24.03.31(人)	117,179	第2次	6.6	8.0			基準財政収入額	14,836,571	14,825,972	資金不足比率(※4)										
	うち日本人(人)	117,179		18,371	19,388	基準財政需要額	18,669,821	18,697,684	標準税収入額等	19,249,173	19,162,528										
	増減率(%)	1.4	第3次	33.1	31.8			標準税収入額等	19,249,173	19,162,528											
	うち日本人(%)	-0.2		33,449	36,344	経常経費充当一般財源等	24,745,340	24,866,517	経常経費充当一般財源等	24,745,340	24,866,517										
	面積(km <sup>2</sup> )	592.82	60.3	59.6	歳入一般財源等	30,676,869	31,126,841	歳入一般財源等	30,676,869	31,126,841											
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	199																				
世帯数(世帯)	44,602																				
職員の状況																					
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	36,037,105	38,407,173										
	市区町村長	1	6,720		一般職員	696	2,220,240	3,190	うち公的資金	16,969,882	18,037,607										
	副市区町村長	2	6,417		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	7,901,846	6,401,048										
	教育長	1	6,165		うち技能労務職員	68	214,812	3,159	収益事業収入	-	-										
	議会議長	1	4,800		教育公務員	13	49,902	3,839	土地開発基金現在高	302,900	302,725										
	議会副議長	1	3,900		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	5,020,220	4,191,632										
	議会議員	28	3,550		合計	709	2,270,142	3,202	積立金現在高	1,708,324	1,707,147										
					ラスバイレス指数(※6)			108.3	(100.0)	減債基金	1,708,324	1,707,147									
										その他特定目的基金	4,199,852	4,484,723									
一般会計等の一覧																					
項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧		項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧		項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)	
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(7)	那須塩原市水道事業会計	(8)	那須塩原市下水道事業特別会計	(12)	那須塩原市下水道事業特別会計	(9)	那須塩原市農業集落排水事業特別会計	(13)	那須塩原市農業集落排水事業特別会計	(14)	那須塩原市農業集落排水事業特別会計	(15)	那須塩原市農業集落排水事業特別会計	(16)	那須塩原市農業集落排水事業特別会計	(17)	那須塩原市農業集落排水事業特別会計
(2)	公共用地先行取得事業特別会計	(5)	介護保険特別会計			(10)	那須塩原市温泉事業特別会計	(18)	那須塩原市温泉事業特別会計	(11)	那須塩原市温泉事業特別会計	(14)	那須塩原市温泉事業特別会計	(15)	那須塩原市温泉事業特別会計	(16)	那須塩原市温泉事業特別会計	(17)	那須塩原市温泉事業特別会計	(18)	那須塩原市温泉事業特別会計
(3)	墓地事業特別会計	(6)	後期高齢者医療特別会計			(11)	那須塩原市土地整理事業特別会計	(19)	那須塩原市土地整理事業特別会計			(15)	那須塩原市土地整理事業特別会計	(16)	那須塩原市土地整理事業特別会計	(17)	那須塩原市土地整理事業特別会計	(18)	那須塩原市土地整理事業特別会計	(19)	那須塩原市土地整理事業特別会計

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: ラスバイレス指数の( )内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。  
 ※7: 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	19,153,207	42.9	18,660,314	71.7	普通税	18,524,284	96.7	380,638
地方譲与税	438,265	1.0	438,265	1.7	法定普通税	18,524,284	96.7	380,638
利子割交付金	29,484	0.1	29,484	0.1	市町村民税	7,922,312	41.4	380,638
配当割交付金	25,992	0.1	25,992	0.1	個人均等割	180,772	0.9	-
株式等譲渡所得割交付金	7,591	0.0	7,591	0.0	所得割	5,442,918	28.4	-
地方消費税交付金	1,149,394	2.6	1,149,394	4.4	法人均等割	444,790	2.3	74,887
ゴルフ場利用税交付金	41,418	0.1	41,418	0.2	法人税割	1,853,832	9.7	305,751
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	9,332,587	48.7	-
自動車取得税交付金	151,247	0.3	151,247	0.6	うち純固定資産税	9,245,793	48.3	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	241,314	1.3	-
地方特例交付金	66,659	0.1	66,659	0.3	市町村たばこ税	1,028,071	5.4	-
地方交付税	6,318,695	14.1	5,382,429	20.7	釧産税	-	-	-
普通交付税	5,382,429	12.0	5,382,429	20.7	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	827,613	1.9	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	108,653	0.2	-	-	目的税	628,923	3.3	-
(一般財源計)	27,381,952	61.3	25,952,793	99.7	法定目的税	628,923	3.3	-
交通安全対策特別交付金	16,711	0.0	16,711	0.1	入湯税	136,030	0.7	-
分担金・負担金	189,312	0.4	-	-	事業所税	-	-	-
使用料	760,475	1.7	26,066	0.1	都市計画税	492,893	2.6	-
手数料	452,421	1.0	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	5,272,158	11.8	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	3,175,980	7.1	-	-	合計	19,153,207	100.0	380,638
財産収入	128,684	0.3	28,600	0.1				
寄附金	1,575	0.0	-	-				
繰入金	437,666	1.0	-	-				
繰越金	1,678,328	3.8	-	-				
諸収入	2,584,560	5.8	4,963	0.0				
地方債	2,618,100	5.9	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	1,100,000	2.5	-	-				
歳入合計	44,697,922	100.0	26,029,133	100.0				

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	4,451,816	実質収支	770,252
下水道	1,508,129	再差引収支	679,148
宅地造成	254,081	加入世帯数(世帯)	19,634
上水道	71,533	被保険者数(人)	36,732
と畜場	27,140	被保険者	101
国民健康保険	748,264	1人当り	90
その他	1,842,669	保険料(料)収入額	221
		国庫支出金	90
		保険給付費	221

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	322,820	0.8	-	322,820	
総務費	4,508,995	10.7	24,152	4,022,642	
民生費	12,862,635	30.4	455,336	6,257,172	
衛生費	4,072,214	9.6	803,064	2,933,602	
労働費	2,266,260	0.7	902	61,018	
農林水産業費	1,198,352	2.8	358,360	681,913	
商工費	2,145,129	5.1	20,266	535,268	
土木費	3,626,295	8.6	927,339	2,716,055	
消防費	1,673,141	4.0	47,741	1,635,666	
教育費	5,556,866	13.1	1,469,835	3,561,430	
災害復旧費	498,104	1.2	-	76,500	
公債費	5,534,135	13.1	-	5,473,007	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	42,294,946	100.0	4,106,995	28,277,093	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	20,035,966	47.4	14,270,466	14,194,275	52.3
人件費	6,424,003	15.2	5,868,449	5,818,452	21.4
うち職員給	4,117,589	9.7	3,605,201	-	-
扶助費	8,077,828	19.1	2,929,010	2,902,816	10.7
公債費	5,534,135	13.1	5,473,007	5,473,007	20.2
元利償還金	5,533,815	13.1	5,472,687	5,472,687	20.2
内 うち元金	4,988,168	11.8	4,936,338	4,936,338	18.2
訳 うち利子	545,647	1.3	536,349	536,349	2.0
一時借入金利子	320	0.0	320	320	0.0
その他の経費	17,653,881	41.7	12,838,298	10,551,065	38.9
物件費	6,705,643	15.9	4,358,578	3,703,171	13.7
維持補修費	379,937	0.9	329,380	294,013	1.1
補助費等	3,761,654	8.9	3,366,799	3,150,831	11.6
うち一部事務組合負担金	1,708,347	4.0	1,708,347	1,677,669	6.2
繰出金	4,380,283	10.4	3,954,802	3,403,050	12.5
積立金	870,889	2.1	827,595	-	-
投資・出資金・貸付金	1,555,475	3.7	1,144	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,605,099	10.9	1,168,329	-	-
うち人件費	106,622	0.3	106,622	-	-
普通建設事業費	4,106,995	9.7	1,091,829	-	-
うち補助	2,009,459	4.8	95,425	-	-
うち単独	2,068,607	4.9	991,875	-	-
災害復旧事業費	498,104	1.2	76,500	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	42,294,946	100.0	28,277,093	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成24年度 栃木県那須塩原市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	44,682	42,281	2,401	2,197	438	36,037	
2 公共用地先行取得事業特別会計	14	14	-	-	14	-	
3 墓地事業特別会計	13	11	2	2	6	-	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	118,761	人(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	116,992	人(H25.3.31現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	592.82	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	10.1	%
入居総戸数	44,697,922	千戸	将来負担比率	-	%
歳入総額	42,294,946	千円	市町村類型	H20 Ⅲ-1 H21 Ⅲ-1 H22 Ⅲ-1	
歳出総額	2,198,884	千円	(年度毎)	H23 Ⅲ-1 H24 Ⅲ-1	
実収支	27,279,554	千円			
標準財政規模	36,037,105	千円			
地方債現在高					

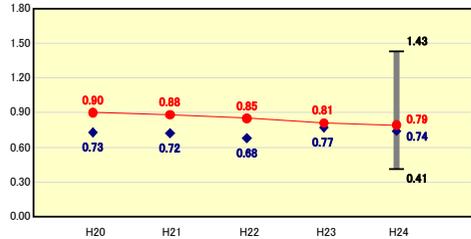


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

#### 財政力

財政力指数 [0.79]

類似団体内順位 36/88 全国平均 0.49 栃木県平均 0.71

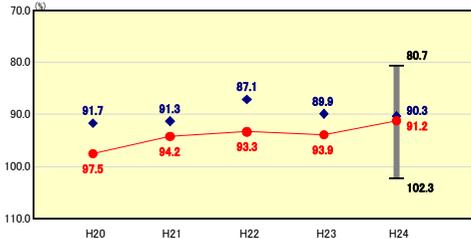


**財政力指数の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると0.05ポイント上回っているものの、直近5年の推移を見ると近年その差は縮まっている。これは、全国的に交付基準額が横ばいあるいは微減である中、本市においては基準財政需要額は概ね横ばいで、市税法人税などの増加による基準財政収入額が増加したことから、交付基準額が減少となり本市の財政力指数が下降したことによる。

#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 [91.2%]

類似団体内順位 46/88 全国平均 90.7 栃木県平均 90.1

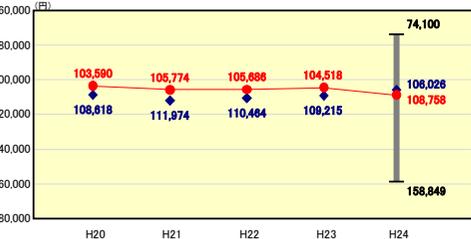


**経常収支比率の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると0.9ポイント上回っている。これは、し尿処理や消防業務などを行う一部事務組合への負担金が、類似団体と比べ多額になっていることが挙げられる。本市の推移を見ると、市税や普通交付税などの経常一般財源の増加等により、近年は減少傾向にある。平成24年度は市税が大幅に増加し経常一般財源が増加したことにより前年度から2.7ポイント改善した。

#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [108,758円]

類似団体内順位 51/88 全国平均 116,454 栃木県平均 108,879

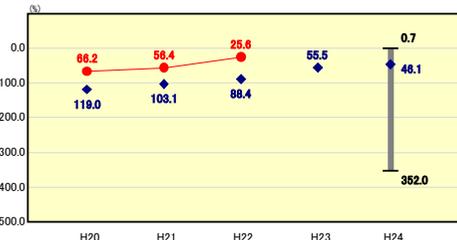


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 類似団体平均と比較して、人口1人当たりの人件費・物件費等決算額は、し尿処理や消防業務などを一部事務組合で行っていることや公立保育園の民営化等により近年下回っていたが、平成24年度は住宅除染などの放射能対策関連経費の増加や、西那須野清掃センター解体事業の分類変更などによる物件費の増加により増額となった。

#### 将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

類似団体内順位 1/88 全国平均 60.0 栃木県平均 27.7

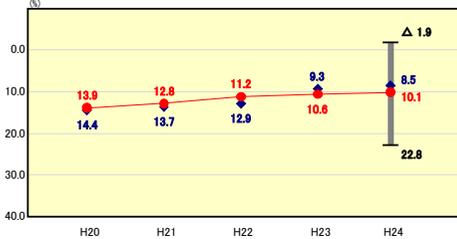


**将来負担比率の分析欄**  
 本市の将来負担比率は0.0%となり、類似団体平均と比較して46.1ポイントと大きく下回っている。主な要因としては、臨時財政対策債など新発債の抑制により地方債現在高が圧縮(前年度比△2,370,065千円)されたことや、財政調整基金の積立による充当可能財源の増などによること大きい。

#### 公債費負担の状況

実質公債費比率 [10.1%]

類似団体内順位 55/88 全国平均 9.2 栃木県平均 8.1

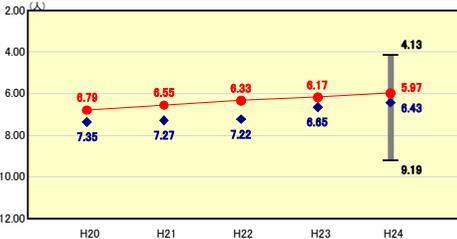


**実質公債費比率の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると1.6ポイント上回っている。これは、合併特例債の元利償還金がピークとなりつつあることによる。しかし、地域総合整備事業債や臨時財政対策債の元利償還金が減少しているため公債費は減少している。また、後年度に手厚い財政措置のある地方債を活用していることで基準財政需要額が増加しているため、比率は減少傾向にある。

#### 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [5.97人]

類似団体内順位 38/88 全国平均 7.00 栃木県平均 6.77

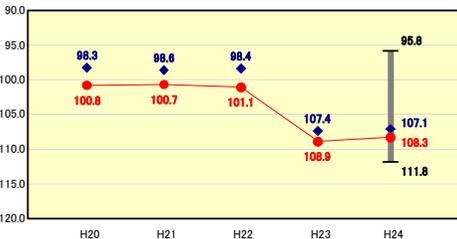


**人口千人当たり職員数の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると0.46ポイント下回っている。これは、第1次定員適正化計画(H17.4.1~H23.4.1)で目標以上の人員削減(目標90人に対し、116人の削減)を達成し、更に第2次定員適正化計画において人員削減(平成24年度目標職員数813人に対し812人、前年度比△22人)に取り組んでいるほか、し尿処理や消防業務などを一部事務組合で行っていることや公立保育園の民営化等により類似団体より職員数(人件費)が少ないことが要因である。

#### 給与水準(国との比較)

ラスパイレズ指数 [108.3]

類似団体内順位 58/88 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2



**ラスパイレズ指数の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると1.2ポイント上回っている。国家公務員の給与削減に伴い全国的にラスパイレズ指数は増加しているが、本市独自の要因をみると、経験年数階層内における職員分布の変化や国と同様の昇給回復措置を行っていないことなどのラスパイレズ指数減少要因が多く、類似団体平均との差は小さくなってきている。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

栃木県那須塩原市

## 経常収支比率の分析

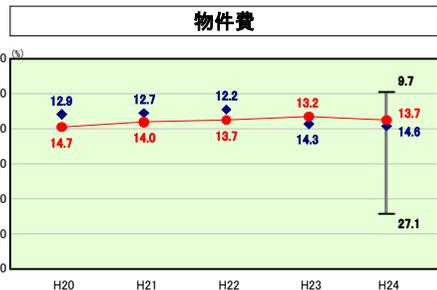
人口	118,761	人(H25.3.31現在)	-	%
うち日本人	116,992	人(H25.3.31現在)	-	%
面積	592.82	km <sup>2</sup>	10.1	%
歳入総額	44,697,922	千円	-	%
歳出総額	42,294,946	千円	-	%
実収支差	2,198,884	千円	-	%
標準財政規模	27,279,554	千円	-	%
地方債現在高	36,037,105	千円	-	%

実収支差	2,198,884	千円	市	H20	Ⅲ-1
実収支差	2,198,884	千円	町	H21	Ⅲ-1
実収支差	2,198,884	千円	村	H22	Ⅲ-1
実収支差	2,198,884	千円	類型	H23	Ⅲ-1
実収支差	2,198,884	千円	類型	H24	Ⅲ-1



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



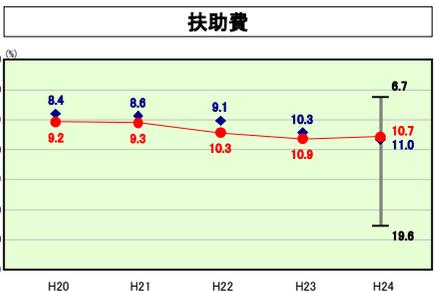
**物件費の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると0.9ポイント下回っている。予算の枠配分など予算編成の段階で物件費を抑制することにより、近年は類似団体を下回っている。今後も、業務の民間委託により人件費から物件費へ経費がシフトされる傾向が続くが、人件費・物件費総額での抑制に努めていく。



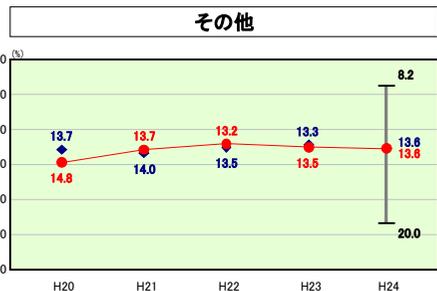
**人件費の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると3.9ポイント下回っている。これは、し尿処理や消防業務などを一部事務組合で行っていることで他に比べ人件費が少ないことが大きな要因の一つとなっている。また、平成24年3月に第2次定員適正化計画を策定し、平成28年度までの人員6% (50人) 削減に加え、職員一人一人の質の向上に取り組む、「精鋭集団」を目標に努力している。なお、平成24年度時点では第2次定員適正化計画の目標職員数813人に対し812人と目標



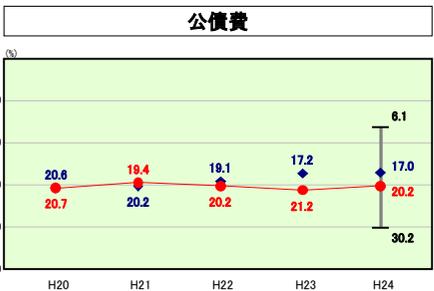
**補助費等の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると2.8ポイント下回っている。これは、し尿処理や消防業務、火葬場の運営などの一部事務組合負担金が全体の40%以上を占めるためである。これらの運営形態は類似団体と比較する際、差が出る大きな要因となっている。しかしながら、市単独補助金等審査会を設置し、補助金見直しなど経費削減努力をした結果、類似団体との差が僅かながら縮まってきている。



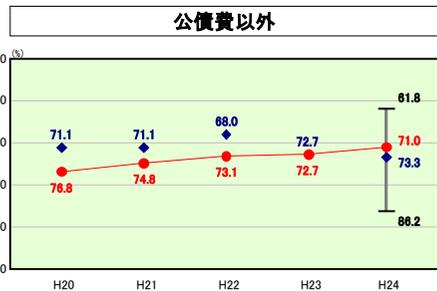
**扶助費の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると0.3ポイント下回っている。前年度比△0.2ポイントの要因としては、児童手当・子ども手当の減(△309,064千円)や増加傾向が続いていた生活保護費の減(△1,716千円)によるところが大きい。



**その他の分析欄**  
 平成24年度においては類似団体平均と同数値となっている。前年度比+0.1ポイントとなっているのは放射能対策関連経費の増額(428,288千円)による物件費の増加が主な要因となっている。また、土地区画整理事業特別会計は平成24年度で廃止となるが、下水道事業などの特別会計への繰入金が必要な割合を占めるため、今後も独立採算の原則に立ち返り、料金体系の見直し等経理の健全化に努め、一般会計からの繰入を極力抑制するよう努力する。



**公債費の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると3.2ポイント上回っている。これは、国の政策に伴い後年度に予定されていた学校耐震改修事業を前倒し実施したことなどによる合併特例債の増発による元利償還金が増加が大きな要因の一つであるが、地域総合整備事業債の償還終了及び臨時財政対策債の発行抑制などによる元利償還金の減少により公債費は前年度より減少(△67,183千円)となった。



**公債費以外の分析欄**  
 類似団体平均と比較すると2.3ポイント下回っている。物件費や人件費を中心とした経常経費抑制に努めてきた成果として、ここ数年は年々比率が減少傾向にある。なお、平成24年度の減少は財政調整基金への積立金の減少も要因の一つとなっている。今後も引き続き経常経費抑制に努めるとともに、交付税減速時期を見据え、市税を中心とした経常一般財源のさらなる確保に努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

栃木県那須塩原市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	6,424,003	54,092	61,333	▲ 11.8
賃金(物件費)	536,787	4,520	3,969	▲ 13.9
一部事務組合負担金(補助費等)	1,282,840	10,802	3,554	▲ 203.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	1,236	10	621	▲ 98.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	272,746	2,297	2,509	▲ 8.4
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	106,622	898	1,252	▲ 28.3
▲退職金	▲ 699,956	▲ 5,894	▲ 7,306	▲ 19.3
合計	7,924,278	66,725	65,933	1.2

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.97	6.43	▲ 0.46
ラスパイレズ指数	108.3	107.1	1.2

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

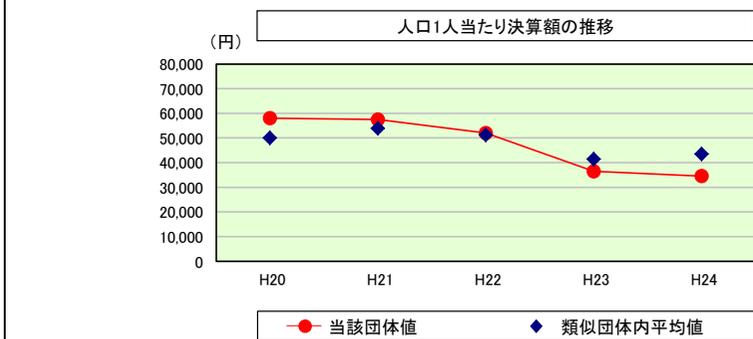


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	5,533,815	46,596	38,337	21.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	40	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,688,522	14,218	10,025	41.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	65,886	555	1,679	▲ 66.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	30,211	254	1,044	▲ 75.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 528,547	▲ 4,451	▲ 7,077	▲ 37.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 4,656,096	▲ 39,206	▲ 29,519	32.8
合計	2,133,791	17,967	14,533	23.6

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

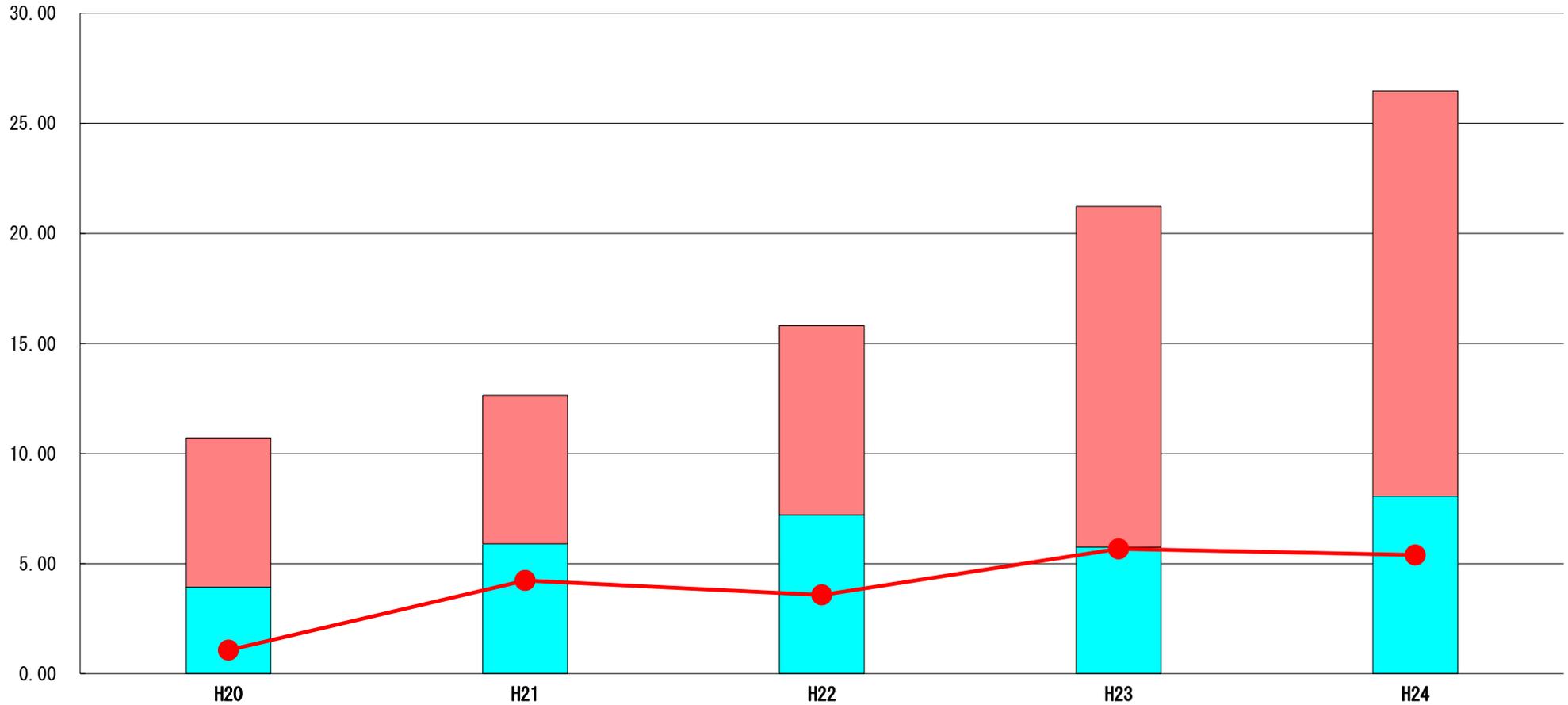
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H20	6,734,310	58,069	▲ 1.1	50,068	1.5	▲ 2.6
うち単独分	3,724,618	32,117	0.6	30,080	2.6	▲ 2.0
H21	6,718,819	57,554	▲ 0.9	53,925	7.7	▲ 8.6
うち単独分	3,361,222	28,793	▲ 10.3	34,260	13.9	▲ 24.2
H22	6,105,754	52,036	▲ 9.6	51,263	▲ 4.9	▲ 4.7
うち単独分	2,701,244	23,021	▲ 20.0	29,061	▲ 15.2	▲ 4.8
H23	4,275,165	36,484	▲ 29.9	41,433	▲ 19.2	▲ 10.7
うち単独分	1,672,220	14,271	▲ 38.0	22,351	▲ 23.1	▲ 14.9
H24	4,106,995	34,582	▲ 5.2	43,493	5.0	▲ 10.2
うち単独分	2,068,607	17,418	22.1	23,254	4.0	▲ 18.1
過去5年間平均	5,588,209	47,745	▲ 9.3	48,036	▲ 2.0	▲ 7.3
うち単独分	2,705,582	23,124	▲ 9.1	27,801	▲ 3.6	▲ 5.5

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成24年度

栃木県那須塩原市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24
 財政調整基金残高		6.78	6.75	8.60	15.48	18.40
 実質収支額		3.93	5.90	7.22	5.75	8.06
 実質単年度収支		1.07	4.24	3.58	5.67	5.39

### 分析欄

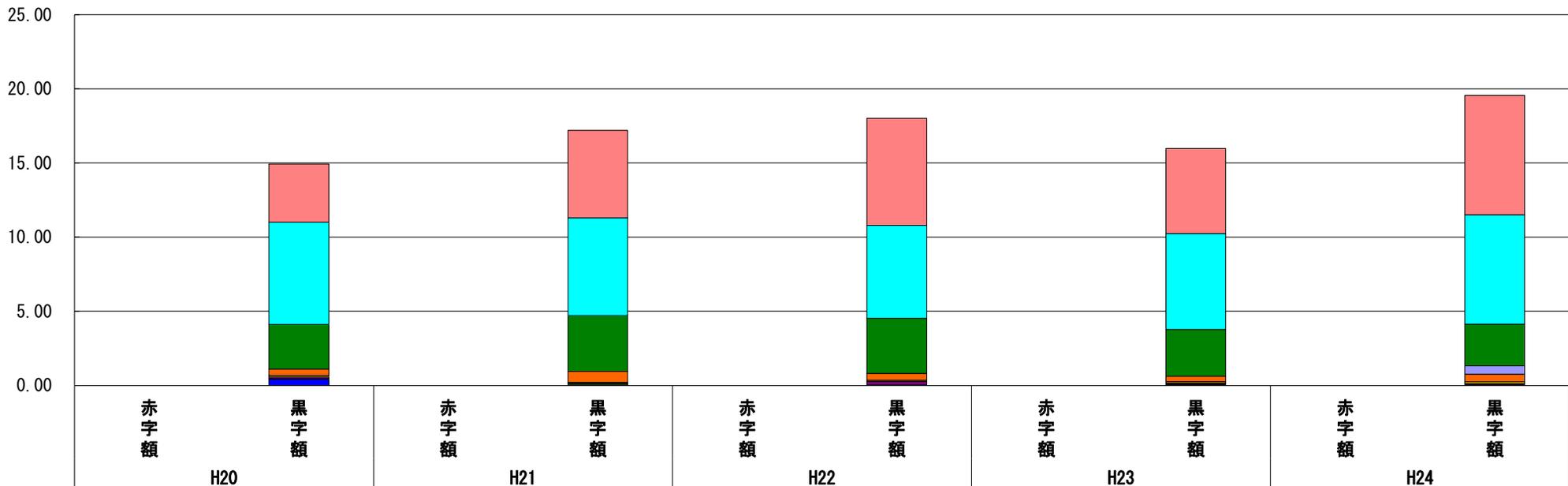
前年度と比較して、財政調整基金残高が2.92ポイント（+828,908千円）増加している。これは、平成23年度決算において市税収入の増などにより剰余金が多く発生し、平成24年度決算における繰越金が増高したことに加え、後年度に多額の事業費が予定される東京電力福島第一原子力発電所事故に因る放射能対策事業の財源とすべく、基金積み立てを行ったためである。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

栃木県那須塩原市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24
一般会計		3.91	5.89	7.22	5.73	8.05
那須塩原市水道事業会計		6.90	6.59	6.26	6.47	7.37
国民健康保険特別会計		3.02	3.76	3.72	3.15	2.82
那須塩原市土地区画整理事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.55
介護保険特別会計		0.42	0.75	0.45	0.37	0.52
後期高齢者医療特別会計		0.08	0.06	0.07	0.07	0.12
那須塩原市下水道事業特別会計		0.12	0.06	0.25	0.10	0.09
那須塩原市温泉事業特別会計		0.06	0.07	0.02	0.05	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.42	0.02	0.02	0.04	0.02

## 分析欄

平成24年度においては、全ての会計で赤字は発生していない。しかしながら、一般会計の繰出金に依存している会計もあり、那須塩原市グループの持続可能な財政運営を実現するためには、独立採算の原則に立ち返った経営に努めることが求められる。

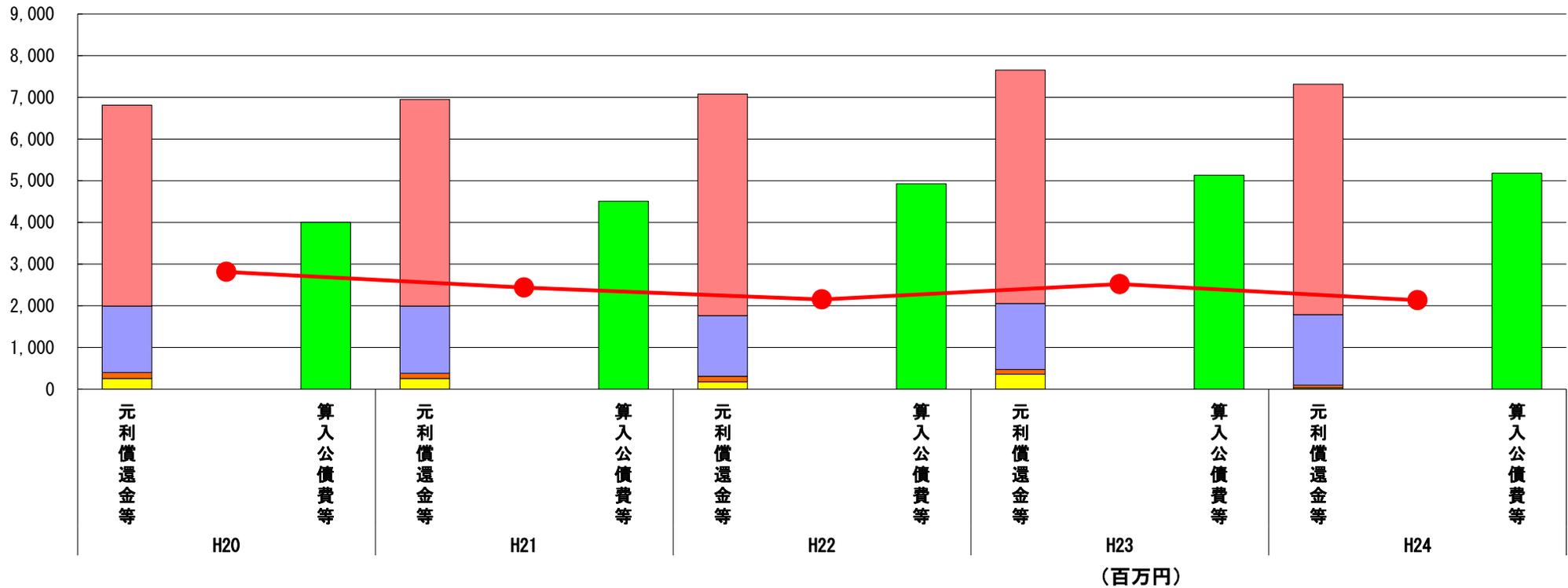
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

栃木県那須塩原市

(百万円)



分子の構造		年度				
		H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金	4,819	4,956	5,317	5,601	5,534
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1,596	1,612	1,455	1,583	1,689
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	146	130	132	117	66
	債務負担行為に基づく支出額	254	253	175	355	30
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等	4,002	4,513	4,926	5,137	5,185
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	2,813	2,438	2,153	2,519	2,134

**分析欄**

合併特例債や臨時財政対策債の元利償還金の増が影響し、単年度実質公債費率が前年度比で約1.8ポイント減少した。

これは、地域総合整備事業債の元利償還金が前年度比△64,725千円、臨時経済対策債の元利償還金が前年度比△62,841千円となったことや、東日本大震災緊急支援資金融資預託金などの利子補給の減による債務負担行為に基づく支出額の減が大きな要因となっている。

なお、地方債残高は順調に減少傾向にあり、今後も過度な将来負担を残さないよう適正な地方債発行に努める。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

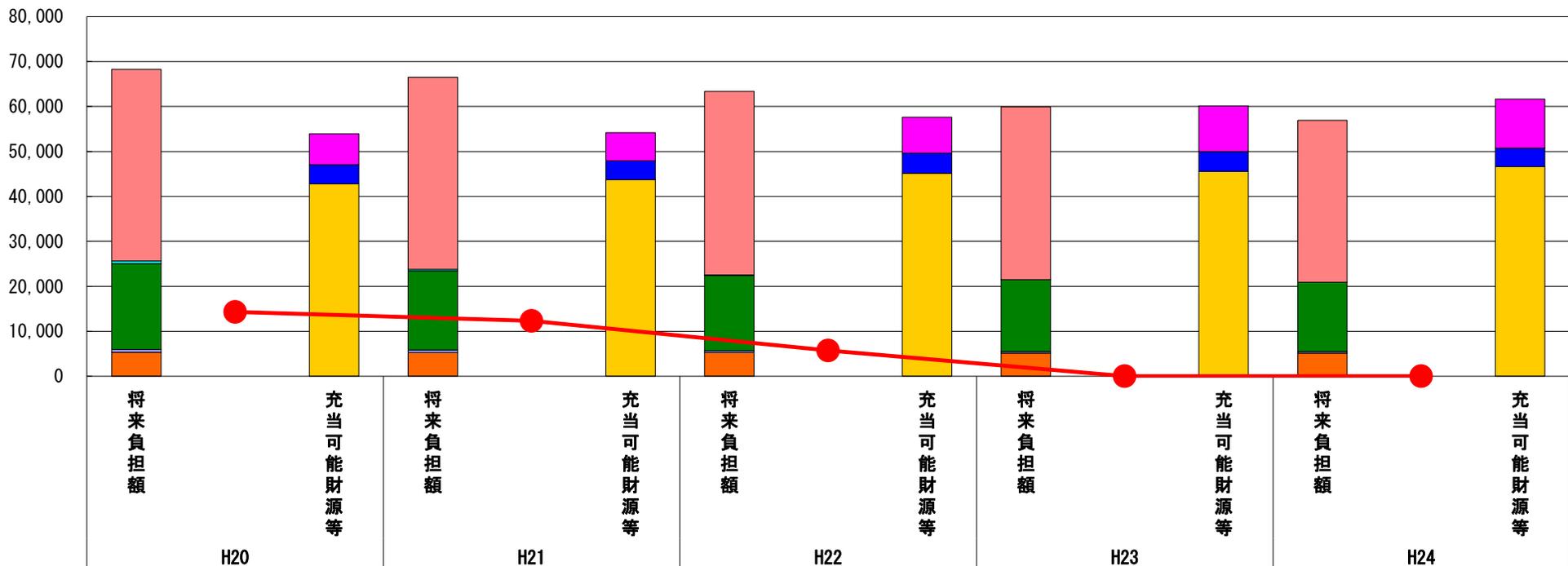
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

栃木県那須塩原市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		42,593	42,759	40,782	38,407	36,037
	債務負担行為に基づく支出予定額		585	347	172	8	-
	公営企業債等繰入見込額		19,082	17,583	16,706	15,975	15,428
	組合等負担等見込額		622	540	442	359	329
	退職手当負担見込額		5,349	5,282	5,243	5,153	5,152
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	2	1	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		6,894	6,255	8,000	10,128	10,925
	充当可能特定歳入		4,258	4,202	4,492	4,425	4,082
	基準財政需要額算入見込額		42,777	43,747	45,133	45,583	46,665
(A) - (B)	将来負担比率の分子		14,302	12,308	5,719	▲ 235	▲ 4,726

## 分析欄

将来負担額の減に加え、充当可能財源の伸びにより、平成23年度決算より将来負担比率は0となっている。

将来負担額の減については、地方債現在高の減少が最も大きな要因である。近年は大きな建設事業等もなく、地方債の発行額を元利償還金よりも抑えることができたため、年20億程度地方債現在高が減少している。

また、放射能対策事業などの喫緊の課題に対処するための財源として平成22年度決算において財政調整基金を1,901,394千円積み立てたことで、基金残高が約83%増となった。また、平成23年度決算においても828,908千円の財政調整基金への積み立てを行っており、これらの積み立てにより将来負担の財源となる充当可能財源等

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。